



連載

リリック野外劇 - 演劇をとおして伝えたいこと -

市民演劇を行う意義

昨年に引き続き、「リリック野外劇」の上演に向けて稽古が始まりました。出演者・スタッフ合わせて総勢55名が週4日リリックに通っています。

これから『リリック通信』では稽古の様子や参加者の感想など、いろいろとお伝えしていく予定ですが、今回は演出の安田雅弘さんから原稿を寄せていただきました。

リリック野外劇について ~二年目を迎えるにあたって~

演出家 安田雅弘

昨年の『夏の夜の夢』にひきつづき、今年もリリック野外劇が開催されることになりました。テキスト(=台本)はシェイクスピア原作の喜劇、『じゃじゃ馬ならし』を使います。シェイクスピアの作品のなかでは比較的初期のものといわれています。後期の四大悲劇のような、円熟味にはやや欠けるものの、若くて勢いのある戯曲で、シェイクスピア喜劇のなかで私がもっとも好きな作品の一つです。

作品の内容についてはチラシなどをご参考にさせていただくとして、ここでは野外劇の意味合いについて、私の考えているところをのべたいと思います。

まず演劇的な教養にできるだけ多くの方々にもふれていただきたい、というねらいがあります。演劇的な教養、などというと、何やらむずかしいことのようにお感じになるかもしれませんが、けっしてそんなことはありません。たとえばシェイクスピアというすばらしい劇作家の魅力にふれるのもその一つですし、大きな声を出してせりふをしゃべることや、からだを思いきり動かしてダンスをおどることもその一つになります。たのしい体験を通じて演劇の世界を身近に感じていただければいいのです。

日本人は世界的に見ても、歴史的に見ても、演劇に深い理解のある民族だと私は感じています。しかし残念ながら、いまの教育制度のなかでは小学校や中学校で、その教養にふれる機会がありません。東京芸術大学という国家的な芸術家養成の場所にも「舞台芸術科」というものはありません。つまり、ほとんどの方はもっぱら「鑑賞」というかたちでしか演劇に参加されていないのが実状です。けれども本来、演劇は、音楽や美術やスポーツと同じように、体験によってその才能が発見されたり、いわゆる名人の熟練した技術を味わうことができるようになる種類の芸術表現なのです。

演劇をやりたい、あるいはもっと知りたいと感じている方はたくさんいらっしゃると思います。野外劇には特段の参加資格はありません。どなたでもやる気さえあれば、出演できます。演劇がどのような訓練を必要とし、どういった段階を追って作られて行くかを実際に体験していただくことができるのです。そのあと、ご自分たちで演劇をつくりたいと思われたときには役にたつでしょうし、何より演劇をご覧になるときの視点が変わったことに驚かれることでしょう。

今回の野外劇はスタッフ陣が充実。これは、野外劇の様子を多くの人に伝えるため、週1回発行される『じゃじゃ馬通信パドック』



スタッフ作業



稽古の様子

野外劇のねらいとして、もう一つ、私が重視しているのは地域のコミュニティの核としての役割です。演劇によって地域のコミュニティを形成できないものかと考えているのです。あらためてのべるまでもなく、ちかごろ少年の凶悪犯罪が世間をにぎわしています。私も東京に住んでいるのですが、あきらかに高校生とおぼしき人たちが人目をはばからずに道路や電車のなかでタバコをすっている光景によくでくわします。よくないこととは思いますが、なかなか注意することができません。青少年の教育という視点で考えた場合、家庭、学校という場所にくわえて、社会という場が欠かせないと思います。むかしであれば、若衆組や青年団という組織がいれば社会教育の一端を担っていたと考えられますが、社会構造の変化とともに、以前のように機能しなくなっていると思われます。

野外劇には、はばひろい年齢層から、さまざまな職業の方々があつまります。この集団のなかには、たとえばタバコをすっている高校生に(実際にはいらっしゃいませんが)、直接注意できるような信頼関係があります。そのような信頼関係をともなう集団をコミュニティと呼んでいきたいのです。私たちの人間関係はどうしても家庭と職場にかぎられがちですが、野外劇に参加していると普段ふれることのない職業の人々と知りあうことができます。これは社会的にはとても大きな効用と考えられます。もちろんリトルリーグや合唱サークルを例にひくまでもなく、こうしたコミュニティは社会にたくさん存在しています。演劇もその一翼を担えるのだ、いやむしろ、演劇はそうしたコミュニティづくりには非常に適した芸術表現なのではないかと私は考えています。

リリック野外劇 じゃじゃ馬ならし

原作/W.シェイクスピア 構成・演出/安田雅弘

7月21日(金) 22日(土) 23日(日)

午後7時30分開演

リリック・野外ポケットステージ(雨天決行)

全席自由500円(当日700円)

チケット発売:5月27日(土)

今年は実現できなかったのですが、ゆくゆくは、長岡市のなかにある企業や教育機関の皆さんにも、いま以上に野外劇に参加していただきたいと思っています。パンフレットなどに企業の広告を掲載し、資金援助していただくという従来のメセナではなく、社員の方々の野外劇参加を奨励し、たとえば有給あつかにしていただいたり、各学校から先生がたを野外劇に派遣し、研修の一つとしてあつかっていただくということができないものではないでしょうか。演劇に興味のある社員の方はおそらくどの企業にもいらっしゃるでしょうし、こうした機会に参加されれば、企業の顔というものが参加者には今まで以上に具体的に見えてくると思います。

また、せっかくリリックホールの近くに造形大学という、すぐれた技術者や美術家をそだてる教育機関があるのですから、野外劇の美術や衣裳を担当していただき、それを大学の「単位」として認めていただくような制度ができないものだろうかとも考えています。造形大学にかぎりません。高校でも大学でも野外劇に参加することは、卒業にむすびつく「単位」として考えていただくに足る体験ではないか、すくなくともその可能性は持っているのではないかと私は考えています。

核家族化した現代の社会に必要な、さまざまな教養や人間のネットワークを野外劇は秘めているのではないかと、当事者である私や運営スタッフは多少の自負もこめて、その行く末に期待をふくらませているところです。

やすだ まさひろ(劇団山の手事情社・主宰、演出家、リリック野外劇の演出を担当)

「楽器の動物園」はどんな動物園なの？



夏休み中の8月19日（土）・20日（日）、リリックホールが子供たちのためのテーマパーク「楽器の動物園」に大変身するよ。今日は僕たちが、この動物園について紹介しよう！



アトラクション3 「パーカッション・ファクトリー」

紙皿、空き缶、ビールの王冠、小豆や小石、どこにでもある材料を使って、打楽器を作ろうぜ！
サンバにサルサ、ボサノバ、ラテン、どんなリズムもへっちゃらさ。
みんなと一緒に合奏すれば、夏休みの思い出もふえちゃうぜ！

アトラクション1 「ミュージック・ズー」

第1スタジオから第5スタジオまで、好きなスタジオに入ってみよう！たくさんの楽器がみんなを待っているよ。そしてナビゲーターの合図で登場するのは、楽器を操るプレーヤー。
どんな音でみんなを楽しませてくれるか、あとは来てのお楽しみさ！



今日紹介したのは、まだまだほんのごく一部。『楽器の動物園』では、全部で10にも及ぶアトラクションがあるんだよ。

夏休みには、お父さん、お母さん、そしてお友達と一緒に、みんなでリリックへ遊びにきてね！

アトラクション2 「リリック・ミッション・アドベンチャー」

光あふれるガラスのお城、リリックホールを全面開放！ スタート地点で『指令メモ』と『デジタルカメラ』を受取り、館内探検へ出かけよう。『指令メモ』の答えを探しに、迷路のようなホールを歩き回ってね。答えをみつけたら、『デジタルカメラ』にカシャ。

君は何問答えられるかな？



イラスト：梅田憲司

『楽器の動物園』開催記念

楽器・動物の絵 大募集！

たのしい楽器やかわいい動物の絵を募集します。みなさんからいただいた絵は、当日館内に掲示し、優秀作品には賞状と記念品を差し上げます。どしどし応募してください！

募集内容：動物の絵、楽器の絵、動物と楽器を組み合わせたオリジナルな絵
ご応募いただいた絵は、後日長岡リリックホールにてご返却します。

募集期間：平成12年5月25日（木）～7月31日（月）

応募資格：幼児から中学生まで

応募用紙：B4の画用紙に描いてください。絵の裏に、名前、学年、住所、電話番号、学校名を必ず明記してください。

送り先：長岡リリックホール 動物園担当 まで

チケット好評発売中

パスポート 1,000円（大人/小人：1日通し券）
初回入園日のみ有効 / 3歳未満1名様のみ無料

連載

長岡市芸術文化振興財団がめざすもの

その3 財団のお仕事

さて、財団ではどんな仕事をしているのでしょうか？ 今回はリリックホール管理係のお仕事を、管理係4年目のAさんの1日をとってご紹介します。

- 8：20 出勤、館内の空調や事務室のコンピュータをスイッチオン。
- 8：30 今日1日の施設使用予定を確認する（どんな団体が、何時に、どこの会場を使うか）
- 8：50 昨日の売り上げ金を処理（ホールやスタジオの使用料、チケット売り上げ代金など）
- 9：00 コンサートホールやスタジオを使いに来られた方に鍵をわたす
- 9：10 昨日の施設使用状況をデータ入力（統計資料のため）
- 9：50 ホール・シアター・スタジオ使用申込みの受付、財団ホームページ『リリックネット』の予約情報を更新など
- 12：00 昼食
- 13：00 長岡市役所本庁へ事務連絡
- 14：30 シアター使用者と本番に向けての最終打ち合わせ
- 15：00 視察で来られた方をご案内
- 16：00 『リリック通信』のスケジュール作成
- 16：30 コンサートホールの附属設備使用料の精算
- 17：00 夜間警備の守衛さんに引継ぎ
- 17：30 帰宅



使用の申込みを受け付けています

おまけ（ある朝、こんなことがありました...）
お散歩途中の大型犬が首輪から抜け出してリリックホールに迷い込んできました。しばらくの間、情報ラウンジで流れる音楽を聴きながらくつろいで（？）いたのですが、探しに来た飼い主に連れられて帰ってしまいました...

管理係は主に、ホール・シアター・スタジオを使う人のために毎日お仕事をしています。「リリックホールって誰でも使えるんですか？」「スタジオの料金は？」などのご質問はお気軽に管理係まで。

次回 財団のお仕事 に続く (よ)

リリックホールの公演 6月

6月の休館日は6月12日(月)です

日	催し物名・出演者・内容	公演時間	会場	入場料など	主催・お問い合わせ先	お知らせ
2 (金)	新潟県中越地区高等学校演劇講習会	9:45～16:00	シアター	関係者のみ	新潟県高等学校文化連盟 0258-29-1300(飛鳥井)	
3 (土)	リリック・アソシエイト・アンサンブル(SAWA QUARTET) 定期演奏会 「木管の温もり シルクの弦」 出演：茂木大輔(オーボエ) リリック・アソシエイト・アンサンブル(SAWA QUARTET) 曲目：モーツァルト/オーボエ四重奏曲へ長調K.370 ほか	19:00～21:00	エグザシブ	全席自由 一般 3,000円 学生 1,500円	長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7711(リリックホール)	リリックホール 市立劇場 ☺ ☎
3 (土)	健康スポーツセミナー2000 演題：「運動と水分」 講師：小沢治夫先生 ゲストトーク：益子直美さん(元バレーボール選手)	13:30～16:40	シアター	全席自由 入場無料 はがきで申し込み	(財)長岡市体育協会 0258-34-2700	
4 (日)	尺八演奏会 第6回新潟県中越琴古会演奏会 尺八・箏・三絃、三曲演奏 曲目：春の曲、千鳥の曲、都の春、熊野、吾妻獅子、桜川 ほか	11:00～16:30	シアター	全席自由 入場無料	新潟県中越琴古会 0258-34-7000(事務局)	
6 (火)	ボランティア大学公開講座「現代社会と心の病」加藤諱三氏講演会 少年犯罪・家庭内暴力など、多発する社会問題は、「心の病」が原因。 うつ病・ひきこもり現象などを社会心理学の立場から解明する。	13:30～15:30	シアター	全席自由 入場無料 電話・FAXで申し込み 当日来場も可	長岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター 0258-33-6000	
10 (土)	パッパの魅力 出演：八百板正己(チェンバロ) 曲目：パッパ/シフォア(全15曲)、6声のリカルド、伴 以組曲第6番 ほか	18:30～20:30	第1スタジオ	全席自由 1,500円	八百板正己 0258-53-5029	リリックホール 当日券500円増
11 (日)	平成12年実践倫理壮年の集い 倫理の実践を通じて得た体験講演会(会友数名による) ほか	10:00～11:30	エグザシブ	全席自由 入場無料	社団法人実践倫理宏正会 壮年部 025-266-3866	
13 (火)	コンテンポラリー・ダンス・ワークショップ 現代ダンスの基礎を学ぶチャンスです。申し込み受付中(先着順)	初心者クラス 19:00～20:00 経験者クラス 20:15～21:15	第1スタジオ	参加料(3日間) 3,000円 見学料 1回 500円	長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7711(リリックホール)	リリックホール 市立劇場
15 (木)	講師：増子浩介(現代舞踊家)					
16 (金)	映画上映会	18:30～21:45	シアター	関係者のみ招待	三井生命 0258-32-0829(宮田)	
17 (土)	長岡市中学校合唱講習会	13:30～16:40	エグザシブ	関係者のみ	長岡市音楽教育研究会 0258-27-1402(小山)	
24 (土)	第35回新潟県音楽コンクール予選審査会	24日11:00～16:30 25日10:00～16:30	エグザシブ	全席自由 500円	新潟日報社内 新潟県音楽コンクール事務局 025-378-9261	
25 (日)						
25 (日)	市民公開講座「前立腺がんの疫学・診断・治療について」	15:00～17:00	シアター	全席自由 入場無料	アストラゼネカ(株) 03-5840-1123(野村)	

☺ 託児室あり ☎ 終演バスあり

5月20日現在

公演の詳細については、主催者へお問い合わせください。予定が変更になる可能性もあります。託児室のご利用を希望される方は、事前に主催者へご連絡ください。

入場料は前売りのお値段です。当日券については主催者へお問い合わせください。(当財団自主事業の当日券は500円増となります。)

お知らせ欄の 印は、リリックホールまたは市立劇場でチケットをお取り扱いしている公演です。その他のプレイガイドについては、主催者へお問い合わせください。

施設使用申込開始日のご案内

平成12年 7月 3日 (月) 午前9時
までに、各事務室へおいで下さい。

リリックホール

第1～10スタジオ 平成12年 10月分
コンサートホール・シアター 平成13年 7月分

長岡市立劇場

大・小ホール 平成13年 7月分
大・中・小会議室 平成13年 7月分

施設の保守点検・自主事業などご利用できない日もございます。

詳しくは各事務室へお問い合わせ下さい。

6/3(土)チケット発売開始

夢の鏡の向う側

ハラダ タカシ オンド・マルトノの世界

9月29日(金)午後7時開演

リリック・コンサートホール

出演：ハラダ タカシ(オンド・マルトノ) 須川展也(サクソフォン)

長澤真澄(ハーブ) 三宅 進(チェロ) 櫻澤弘子(ピアノ)
曲目：サン＝サーンス/白鳥、ドビュッシー/アラベスク
サティ/お前が欲しい、ハラダ タカシ/九月の旅
池辺晋一郎/熱伝導率、ほか

全席自由 一般3,000円 学生1,500円(当日各500円増)

ローソンチケット Lコード：37755



ハラダ タカシとオンド・マルトノ

「オンド・マルトノ」とは？

フランスの音楽家で電気技師でもあったモリス・マルトノさんが発明した電子楽器です。<オンド・マルトノ>とはフランス語で「マルトノの電波」という意味です。初めての公開演奏が行われたのは1928年、パリのオペラ座においてでした。

楽器名はあまりなじみがないかもしれませんが、オンド・マルトノの音は映画やテレビ番組・CM音楽などで意外と耳にしているものです。サントリー・ウーロン茶や焼酎のCM、映画では「ライジング・サン(音楽：武満徹)」「スネークアイズ(音楽：坂本龍一)」などで用いられ、また効果音でも、時代劇などで「ひゅ～っうら～っ」といかに人もがひそんでいるかのように風が吹くシーンや、ヒッチコックの映画「鳥」の、何羽もの鳥がバシバシと飛び音などなど。また、オリジナルなオンド・マルトノのための曲は、ソロからオーケストラ曲まで1000曲以上があります。オーケストラ曲で「これぞオンド・マルトノ!」というのは、フランスの大作作曲家メシアン(1908-1992)が書いた「トゥランガリラ交響曲」で、昨年新潟市民芸術文化会館で演奏されました。しばしばポルタメント(*)をともなつて、とても懐かしく、また人間臭い音を奏でます。ある時は甘く官能的に、そしてあるときは笑い声のように。光をまとったかのような、つややかな響きもまた魅力的です。

今回は、オンド・マルトノの世界的奏者ハラダタカシさんが、サクソフォンの須川展也さんとともにリリックに登場。様々な楽器とオンド・マルトノのコンビネーションを、ぜひ「生」で味わってください。プログラムは、心地よく楽しい曲がふんだんに入っています。また、マルトノ自身が「楽器そのものがすでに芸術品」と述べたとおり、楽器のデザインもフランス風で洗練されたもの。素敵なイ

市立劇場の公演 6月

6月の休館日は6月19日(月)です

日	催し物名・出演者・内容	公演時間	会場	入場料など	主催・お問い合わせ先	お知らせ
1(木)	市内中学校演劇鑑賞教室「杜子春」	両日とも 9:30~11:00	大ホール	対象: 中学校2年、3年	長岡市教育委員会 0258-39-2239	
2(金)		13:30~15:00			(学校教育課)	
4(日)	琴城流大正琴演奏会 長岡地区会員800名総出演、琴城流でしか聞かれない邦楽曲 (長唄)を大正琴で!! NHK全国大会出演演奏発表	9:40~16:00	大ホール	入場無料	琴城流大正琴中越支部 0258-27-1158	
6(火)	松原のぶえコンサート	14:00~16:00 18:30~20:30	大ホール	全席指定: S席6,000円 A席4,000円	ダイサンエージェンシー 0538-23-5990	
8(木)	ビューティーク・ライブ・イン長岡 第1部:トークショー 第2部:歌謡ショー 司会:山田邦子 ゲスト:松方弘樹・小柳ルミ子	18:00~20:00	大ホール	無料招待	(株)ヴァーナル 0120-08-1620	ハワイ旅行等 が当たる大抽 選会
10(土)	中越高等学校吹奏楽部第22回定期演奏会 1部ステージドリル 2部歌劇「トスカ」より他 3部ポップス ステージ ゲストプレイヤー:トロンボーン/中川英二郎	18:00~20:30	大ホール	全席自由:500円 (当日600円)	中越高等学校 0258-24-0203	
11(日)	KSD会員の集い 五代夏子コンサート	14:00~16:00 18:00~20:00	大ホール	関係者のみ	(財)KSD中小企業経営者 福祉事業団新潟支社 025-244-2181	
15(木)	劇映画「秋桜」上映会(長岡工業高等学校映画鑑賞会) HIV感染を題材に「エイズ」の正しい理解と人権教育を内容とし たもの。ひとりの少女の運命をとおし、命の尊さを訴える感動作	13:00~15:00	大ホール	関係者のみ	長岡工業高等学校 0258-35-1976	
18(日)	温習会 日本舞踊、歌謡舞踊公演	9:00~16:30	大ホール	全席自由:3,000円	藤生会扇生会 0258-39-3088	
22(木)	市内小学校演劇鑑賞教室「ピーターパンとウエンディ」	両日とも 9:30~11:00	大ホール	対象: 小学校4年、6年	長岡市教育委員会 0258-39-2239	
23(金)		13:30~15:00			(学校教育課)	
25(日)	長岡市ともしひ基金チャリティショー クラウン舞踊まつり新潟大会	10:30~17:00	大ホール	全席自由:2,000円	クラウン邦楽舞踊協会新潟 支部 0259-27-5239(小間)	
26(月)	レニングラード国立バレエ 華麗なるクラシックバレエハイライト 特別ゲスト:草刈民代 白鳥の湖より第2幕、眠りの森の美女より、ドン・キホーテより他	18:30~21:00	大ホール	S席:10,000円 A席:8,000円 B席:6,000円	新潟日報長岡支社 0258-34-9600	

託児室あり 終演バスあり

5月20日現在

公演の詳細については、主催者へお問い合わせください。予定が変更になる可能性もあります。託児室のご利用を希望される方は、事前に主催者へご連絡ください。
入場料は前売りのお値段です。当日券については主催者へお問い合わせください。(当財団自主事業の当日券は500円増となります。)
お知らせ欄の 印は、リリックホールまたは市立劇場でチケットをお取り扱いしている公演です。その他のプレイガイドについては、主催者へお問い合わせください。

長岡市立劇場からのお知らせ

7月17日~8月7日まで、外壁改修工事のため全館貸し出しできません。

なお、使用申し込み受付など通常通り事務室で行います。詳しくは長岡市立劇場事務室までお問い合わせ下さい。

NHK交響楽団演奏会

7月4日(火) 市立劇場

指揮:マティアス・パーメルト

ピアノ:中野翔太

曲目:ウェーバー/歌劇「魔弾の射手」序曲

リスト/ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調

ブラームス/交響曲第1番八短調 op. 68

S席6,500円 A席5,000円

B席3,500円 学生席2,000円

(当日各500円増)

チケット発売中(良いお席はお早めに)

特別協賛:北越銀行



マティアス・パーメルト

「英国ダンスの100年」プログラム販売のお知らせ

4月29日・30日の2日間、計15時間余りにわたって行われたビデオ上映会「英国ダンスの100年」のプログラムを販売しています。写真満載、内外の著名批評家の執筆でつづる英国ダンス20世紀の栄光。残り部数が少なくなっております。

新宿パークタワー、愛知芸術文化センター、長岡リリックホールの共通プログラムです。

内容:・英国バレエの誕生からモダンダンスまでの歴史

・主要なダンスカンパニーの紹介

・ダンスの映像史 など

規格:A4、全96ページ、1色刷り

定価:1,500円(税込)

問い合わせ、お求めは、長岡リリックホールまで



大募集!

高校生のためのシェイクスピア演劇ワークショップ

シェイクスピアの名作「から騒ぎ」を英語で上演。慶応大学から英語の先生を招き本格的な英語の指導、また俳優で、演出家・脚本家でもある上杉祥三さんから演技の指導を受けることができます。演劇や英語に興味のある高校生をお待ちしています。ぜひ、参加してみませんか?

ガイダンス:6月10日(土)リリック・シアター

公演:9月

詳しくはお問い合わせください

今月のハイビジョン放送

リリック・情報ラウンジでご覧いただけるハイビジョン放送をご紹介します。6月は次の番組を放映しますので、ご自由にご覧ください。

8日(木)13:00~15:00

シティボーイズ・ライブ

演出:三木稔

音楽:小西庸陽

出演:大竹まこと、斉木しげる、きたろう

24日(土)12:00~14:00

現代演劇への招待

「銀色の狂騒曲」

作:高橋正剛

出演:松波喬介 ~青年劇場~